

区教育委員会の「統廃合先にありき」に異議あり！！

保護者、地域住民の合意なしに学校統廃合を決めるべきではありません

区教委

「牛込地区学校適正配置の考え方と取り組みの方針」を公表

対象校は 江戸川小と津久戸小、富久小と天神小の統合(案)

新宿区教育委員会が発表した「牛込地区学校適正配置の考え方と取り組みの方針について」では、以下のようなことが示されました。

- 小学校を統廃合するかどうかの目安として児童数150人(根拠としているのは平成4年答申「注」)をあげ、江戸川小、富久小、天神小の児童数が150人を下回ることから統合の対象校とする。
- 江戸川小は隣接して150人を下回る小学校がないため、通学距離が概ね1kmの範囲内であることを理由に、津久戸小(児童数200人)と統合させる。
- 今後の進め方として、対象校のPTAから統合の合意を得た上で、対象校の関係者で組織する「統合協議会」を立ち上げ、①統合の時期、②統合新校の位置、③統合新校の名称、④統合新校の校歌・校章等について協議・検討をおこなう。

*注 平成4年答申より
 小学校【小規模の存置の考え方】
 [学校規模] 各学年が20人の最小規模を維持するため、学校規模としては1学級平均25人の150人程度必要。よって150人程度を下回る学校は統廃合の対象。
 [通学距離] 概ね1km

対象校の「保護者説明会」などで、

次のような意見や質問がでていきます。

日本共産党区議団はこう考えます――

問. 対象校のPTAが合意しなければ、統合はしないのですか？

答. 日本共産党区議団は、統廃合ありきではなく、関係者の意見を尊重すること、PTAや地域の合意なしに統廃合を決めることのないよう、区教育委員会(区教委)に要求してきました。

区教委も、当該のPTAが合意しなければ統合協議会は設置できないと言っています。しかし、説明会等では、「合意が得られない場合、延期、先送りにはなるが…。みんな始めは反対する。でも他校は苦渋の選択をしてきた。他がやってみてはやっぱりいいというのは無理でしょう」などと言って、区教委は何が何でも統合を押しつける姿勢です。統合にはあくまでも合意が必要です。区教委は、PTAや地域の意向を尊重することが求められています。

問. 小規模校が良いから選んできた人もいる。複数学級が良いから統合するというのは話がちがうのでは？ 児童が少ないから統合されるというのは納得できない。

答. 小規模だからこそ子どもたちの個性に合っているかを選択した保護者もいます。また、これから小規模校を選択したいと考えている保護者に対しては、統



廃合で小規模校をつぶすことによって選択肢を奪うことにもなります。

学校・地域の代表が参加した「牛込地区の学校適正配置に関する懇談会」がまとめた意見書には「学校適正配置を進めるにあたっては、単純に数合わせだけの統廃合はおこなわないこと」としています。しかし、今回の区教委の方針は数合わせそのものと言わざるを得ず、懇談会の意見を無視するものです。

問. 小規模校が良くないと言うが、小規模校の学力が劣っているのか？ 少人数のマイナス面について検証できているのか？

答. 小規模校では、少人数だからこそ1人ひとりの子どもに目が届き、1人の落ちこぼれも出さないようにという先生方の努力でとても良い教育実践が行われています。



ところが、「単学級ではクラス替えがないから友だち関係が心配」などマイナス面だけが誇張されて保護者の間に広がり、児童数が減少すればするほど統廃合の不安が広がって、学校選択制が実施されているもとで大規模校へ流れているのが現状です。区教委は、小規模校の良さを保護者と地域に知らせ、入学児童を増やす努力こそすべきです。

日本共産党
新宿区議団ニュース

2008年10月号
 発行●日本共産党新宿区議団／歌舞伎町1-4-1
 TEL 03-5273-3551 FAX 03-3200-1474
 ホームページ http://www.jcp-shinjuku.com

ご意見・ご要望をお聞かせください。
 メール●info@jcp-shinjuku.com
 各区議のホームページやメールも
 区議団のホームページからリンクできます

日本共産党区議団へ
 ◆学校統廃合、学校選択制などについてのご意見・ご要望をお寄せください。

